

「身体動作学研究」投稿規定

- 1、投稿論文の筆頭著者は、身体動作学研究会の会員もしくは学生会員に限る。
- 2、原稿の掲載可否の判定（査読）と掲載巻・号の決定は運営委員会の編集担当委員が行う。
- 3、原稿の種類はプロシーディングとし、身体動作学研究会にて発表された研究内容とする。
- 4、原稿は和文か英文に統一する。
- 5、数字は算用数字を用いる。物理量の単位表記は原則として国際単位系（SI）を用いる。
- 6、原稿は別に定めるフォーマットに従い、A4判紙2ページ以上とする。
- 7、原稿は「緒言／Introduction」、「方法／Methods」、「結果／Results」、「考察／Discussion」、「結論/Conclusion」で構成する。
- 8、ヒト対象研究では、人権の尊重と安全の確保を最優先し、かつ法に基づいて研究を行うことに十分な配慮を払われていること、動物を対象とする研究では、動物愛護の精神に基づいて、同様の倫理的配慮がなされていることを原稿内に明記すること。また、しかるべき研究機関において研究倫理審査の承諾を得ていることが望ましい。
- 9、原稿には図や表を含めても良い。
- 10、文献の引用は論文に深く関係する主要なものに留める。本文における文献の引用方法は、和文の文献を引用する場合は「著者名（発行年）」によって示す。著者が2名の場合は「著者名1と著者名2（発行年）」とし、著者が3名以上の場合は筆頭著者名に「ら（発行年）」または「他（発行年）」をつけて省略する。欧文の文献を引用する場合も「Author（発行年）」、「Author1 and Author2（発行年）」、「Author et al.（発行年）」等とする。
例）～と考察されている（石井ら1988）
～have been reported (Hibi et al. 1996)
- 11、引用文献のリストは著者名のアルファベット順に並べる。記載順序は、著者氏名<姓と名の順で全員を記す> 西暦年号<（ ）>でくくり、同年発表が複数の場合は、a, b, c,・・・で区別する> : (コロン) の区切り 論文題目 . (ピリオド) の区切り 雑誌名 巻数 (単行本の場合は、論文題目. 書名. 編者名 (3名以上は筆頭者に<ら, 他>または<et al>), 引用頁, 出版社 の順で記す<必要ならば、版数、発行地を適宜加筆する>。
例）石井喜八、金憲洙、高橋勝美、広田公一（1988）：中学生を対象とした最大酸素摂取量推定のためのモノグラム作成. 体育科学 16, 29-35
Hibi N, Fujinaga H, Ishii K (1996): Work and power outputs determined from pedalling and flywheel friction forces during brief maximal exertion on a cycle ergometer. Eur J Appl Physiol 74(5), 435-442
- 12、文献雑誌名の省略方法は、原則として和文は「日本医学雑誌略名表」、欧文は「Index Medicus」に従う。

附則 この規程は令和4年4月1日より施行する。

令和5年4月1日 改正